5. その他(リンパ節)

昭和大学 医学部 臨床病理診断学講座 佐々木 陽介

症例

- 10代, 男性.
- 1年半前に2cm大の顎下部腫瘤を認め、外来にてフォローしていた.
- 腫瘤が4cm大と増大し、精査のためFNACを施行.
 - ※血清可溶性IL-2R 705 U/ml

<検体>顎下部腫瘤穿刺吸引>





